

**NEWS(PRESS) RELEASE**

令和7年12月25日
志摩市 危機管理統括監
防災危機管理課

タ イ ト ル	令和7年度 志摩市災害対策本部図上訓練の実施と公開について
概 要	<p>南海トラフ地震を想定して、地震・津波に対する災害対応力や防災意識の向上を図ることを目的に「令和7年度 志摩市災害対策本部図上訓練」を実施します。</p> <p>「災害対策本部図上訓練」は県や自衛隊、警察、海上保安部などの行政・防災関係機関の参加のもとに、「南海トラフ地震」による被害を想定し、その初動期における災害対策本部員等が行うべき役割や行動を模擬的に体験することにより、応急対策活動上の問題点や課題の把握と初動対処能力の向上を図ることを目的に報道機関等の皆さんに公開して実施します。</p> <p>訓練内容は添付資料をご確認ください。 【添付資料】 資料① 令和7年度 志摩市災害対策本部図上訓練 実施計画</p>
開 催 日	令和8年1月23日（金曜日）
開 催 時 間	午後1時30分～ 午後4時30分 （開始と終了時間） （見学受付は午後1時00分から）
開 催 場 所	志摩市役所本庁舎 4階会議室（401～404会議室）
そ の 他	<p>訓練の取材については志摩市役所4階会議室で実施する「災害対策本部図上訓練」の場をお願いします。</p> <p>※訓練中は全ての取材対応ができない場合があります。</p>
お 問 合 せ 先	志摩市 危機管理統括監 防災危機管理課 担当 下世古・矢吹 TEL 0599-44-0203 FAX 0599-44-5252 e-mail bosaikikikanri@city.shima.lg.jp



令和 7 年度 志摩市災害対策本部図上訓練 実施計画

1. 訓練目的

この訓練は、志摩市、行政・防災関係機関など参加のもとに、南海トラフ地震を想定して、災害対策本部図上訓練を実施し、地震・津波に対する災害対応力や防災意識の向上を図ることを目的とします。

2. 訓練の狙い

震災発生よりまもなく 48 時間が経過するタイミングよりスタートし、人命救助の段階から復旧・復興への体制変換の時期を捉えて対応を訓練する。

3. 主要訓練項目

発災初動期の災害対策本部の対応

- ア 情報の収集・分析・共有
- イ 実施すべき対応策の案出

4. 訓練日時

日時：1 月 23 日（金） 13：30～16：30

場所：市役所 4 階 401～404 会議室（図上訓練会場）
5 階 災害対策本部室（コントローラー室）

5. タイムスケジュール

13 時 30 分から 15 時 30 分：図上訓練

15 時 30 分から 16 時 10 分：ふりかえり・発表

16 時 10 分から 16 時 30 分：講評・あいさつ

6. 訓練参加対象者

（1）市職員 約 70 名

今回の訓練では市長の不在時を想定し、副市長を本部長職務代理者として実施することとして志摩市災害対策本部員、及び志摩市地域防災計画－地震・津波対策編－（令和 6 年 7 月修正）P106 の志摩市災害対策本部組織図にある各班の構成員に対し、別添「令和 7 年度 志摩市災害対策本部図上訓練 参加動員一覧表」の内容で参加を求める。

※ただし、本庁以外での配備が主となる支所支援班（各支所）、医療班（志摩市民病院）、給水・復旧班（水道工務課）は対象としない。また消防班（消防本部）はプレイヤー兼コントローラーとして参加する。

（2）関係機関 三重県、警察、自衛隊、海上保安部 各機関 1～2 名

（3）参加団体 志摩建設事業協同組合、株式会社志摩地中海村、大崎自治会 渡鹿野自治会、志摩市介護サービス事業者連絡会、志摩市社会福祉協議会

(4) その他

訓練講評者

三重県南勢志摩地域活性化局	川北 敏	局長
鳥羽市 総務課防災危機管理室	澤田 将宏	副室長
志摩市 消防本部	久保 宏	消防長

7. 訓練編成

(1) 進行管理者（コントローラー）

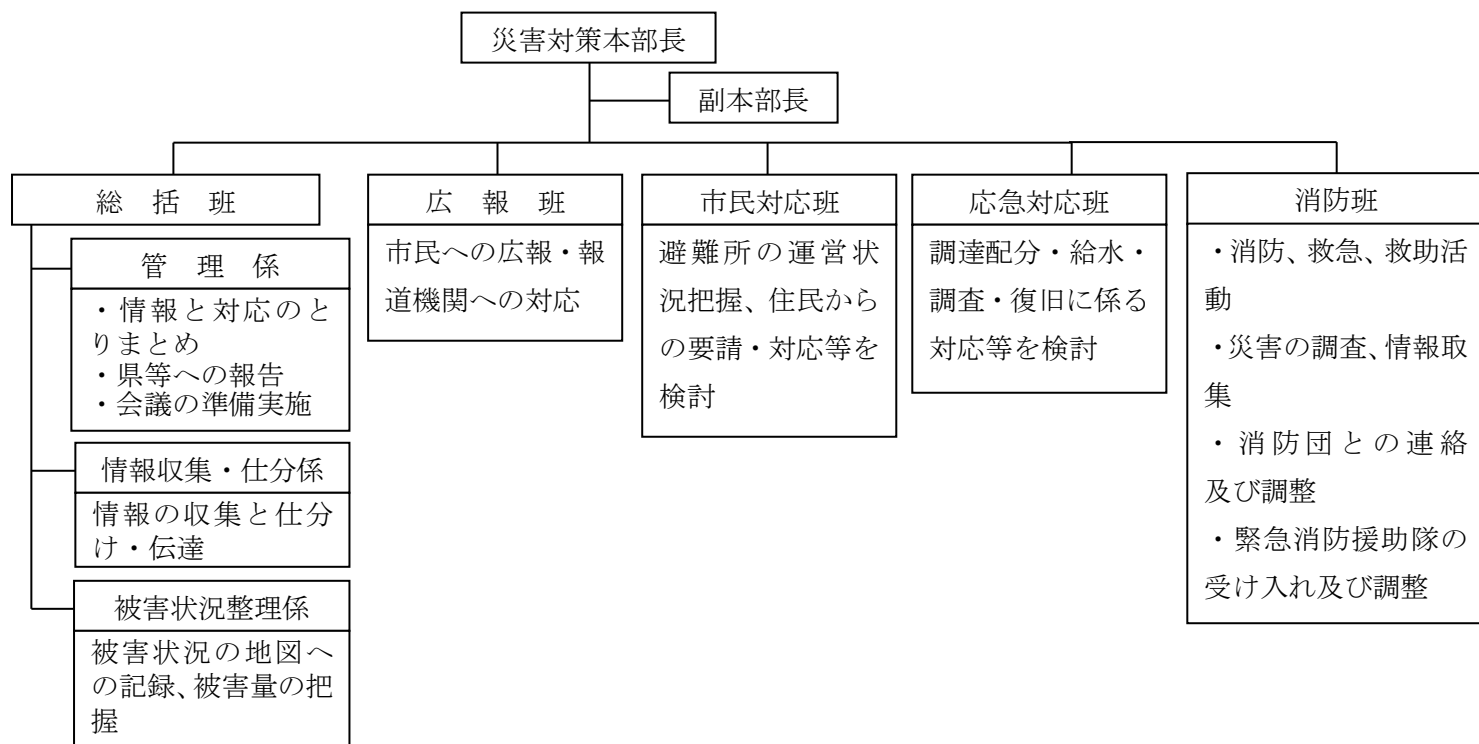
- ・訓練の進行管理や状況付与係を担当（担当：防災危機管理課、消防本部、関係機関）

(2) 訓練参加者（プレイヤー）

- ・各部からの訓練参加者を下記の訓練編成表の各班に割当て

(3) 訓練編成

ア 応急対策本部編成基準



イ 上記の編成を基準として、事前に訓練参加者を各班に割当てる。

ウ 訓練参加者については、参加動員一覧表のとおり各課へ後日依頼する。

8. 実施要領

- (1) 訓練方式は、災害対策本部要員（各部担当者を含む）を対象とした「図上シミュレーション訓練（ロールプレイング方式）」とする。状況付与の内容については、原則非公開とする。
- (2) 状況付与については、進行管理者（コントローラー）からの「情報カード」による伝達を基本として、一部電話、無線等により伝達する。訓練参加者（プレイヤー）は、進行管理者（コントローラー）から提示される一連の状況付与に基づき対応活動を検討し、

その結果を「情報カード」の活動・対応状況欄に記入し、進行管理者に提出する。

9. 訓練中止の判断基準

次の場合は訓練を中止します。

- (1) 訓練当日、市内で震度5弱（最大震度）以上の地震が観測された場合
- (2) 志摩市沿岸（津波予報区：「三重県南部」）に、「大津波警報」、「津波警報」又は「津波注意報」が発表されている場合、又は発表される可能性がある場合
- (3) 「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合
- (4) 市内に「大雨」、「洪水」、「暴風」、「高潮」警報又は特別警報が発表されている場合又は三重県内に特別警報が発表され市長が訓練中止を適当であると判断した場合
- (5) 上記の他、訓練当日志摩市に災害対策本部が設置又は継続されている場合
- (6) その他当日の天候により訓練実施が困難と判断される場合や市内で緊急対応を行っている場合で市長が訓練中止を適当であると判断した場合

10. その他

- ・ 図上訓練に合わせて、職員アンケートも実施する。
- ・ 本訓練は、近隣市町職員の見学の受入れを行う。
- ・ 市議会議員及び報道機関へも開催案内を行い、見学・取材を受け入れる。